

令和7年度 第3回鳥取大学経営協議会 議事要旨

日 時 令和7年9月22日（月） 13：30～15：03
会議方法 対面会議（オンライン併用（Google Meet））
会 場 事務局棟3階 第1会議室
出席者（学外）入江、占部、小林、平井、船越、松本、吉村、渡辺の各委員
（学内）原田、景山、坂口、恒川、三木、結城、熊埜御堂、武中の各委員
内田監事
陪 席 者 岸本副学長、後藤副学長、海藤副学長、西山副学長、香川副学長、
安延副学長、深田副学長
塩野谷地域学部長、永島医学部長、岩井工学部長

議事要旨の承認

前回（令和7年6月18日開催）の議事要旨を承認した。

審 議

1. 2025年度におけるガバナンスコード適合状況確認について

資料1に基づき、前回の経営協議会後に学外委員からいただいた意見を踏まえた「適合状況確認表」の修正案、公表に係るスケジュールについて説明があり、審議の結果承認した。

— 委員からの主な発言 —

◇女性活躍推進への積極的な取り組みは、若手女性研究者にとって大学の魅力向上に繋がるため、ぜひ継続してほしいと意見があった。

◇若手教員比率の目標について、世の中では中高年も含めた活躍が推進される中で、年齢で比率を区切るガイドラインに違和感があるとの意見に対し、任期付き雇用により若手研究者が減少した経緯があり、ガイドラインが設けられた背景にはこうした事情等がある旨説明があった。

報 告

1. 令和8年度運営費交付金概算要求

資料2に基づき、令和8年度運営費交付金概算要求について報告があった。

2. 令和6年度財務諸表の承認

資料3に基づき、令和6年度財務諸表についてが令和7年8月30日付で文部科学大臣より承認を受けた旨報告があった。

3. 令和6年度業務実績報告書（概要）について

資料4に基づき、法人評価に関する自己点検・評価結果として「業務実績（概要版）」を作成したことについて報告があった。

4. 地域未来共創センターの現状について

資料 5 に基づき、県内全 19 市町村長等とキックオフミーティングを開催し、地域の課題に対するプロジェクトチームを立ち上げるなど地域未来共創センターの活動状況について報告があった。

— 委員からの主な発言 —

◇円安を背景に海外のベンチャーキャピタルが日本の大学に注目するなど、ベンチャー創出は鳥取県にとって重要な事項であり、ベンチャー創出につながる大学内のシーズは客観的な視点を持つ第三者に見てもらうことが成功の鍵であるとの意見があった。

◇高等専門学校との連携体制について質問があり、文部科学省などの公募事業を活用しながら、今後体制整備に向けて検討していきたい旨説明があった。

5. 広報強化の現状について

資料 6 に基づき、「広報戦略室」を学長直下に設置し、情報発信窓口の一元化、学生広報アンバサダーの任命による SNS 発信強化、6 年ぶりとなるホームカミングデーの開催、県人会等での PR 活動など、学内外への魅力発信と応援団獲得に向けた活動を積極的に展開しており、寄付金なども徐々に増加傾向にある旨説明があった。

討 議

1. 留学生受け入れの現状と将来の学環構想

資料 7 に基づき、鳥取大学の留学生受け入れ状況と留学生数増員のための施策について説明があり、説明後、各委員との意見交換が行われた。

— 委員からの主な発言 —

◇留学生の獲得は非常に難しい課題であり、全方位で取り組むのではなく、乾燥地研究や農業、医学といった本学の明確な強みに資源を集中投下し、成功事例を作ることが効果的ではないかとの意見があった。

◇学部留学生の獲得はどの大学も苦労しており、まずは比較的アプローチしやすい大学院、特に本学に強みのある分野での留学生を増やすことから着実に進めてはどうかとの意見があった。

◇留学生を獲得するために、同年代である学生広報アンバサダーを利用した情報発信が効果的ではないかとの意見があった。

◇留学生の入試において、学力レベルを担保しつつ、いかに受け入れに繋げるかという選抜方法の難しさについて意見があった。

◇留学生に対する地域の受け入れ体制も進めていただきたい旨意見があった。

その他

資料8に基づき、次回開催日程について説明があった。